

 朝日工業社 (証券コード：1975)

個人投資家向け会社説明会

2023年12月14日

「心地良い」が
当たり前の世界に。

Making "comfort" a standard feature.

- | | | |
|---|--------------|------|
| 1 | 会社概要 | P.3 |
| 2 | 朝日工業社の強み | P.20 |
| 3 | 2024年3月期業績予想 | P.30 |
| 4 | 資本政策・株主還元 | P.35 |
| 5 | 中期経営計画 | P.39 |
| | Appendix | P.45 |



 朝日工業社

1. 会社概要



「空気・水・熱」の技術で「快適環境・最適空間」を創造する、
メーカー機能を持つ環境エンジニアリングカンパニー

MISSION

私たちは、
地球環境と資源を大切にしながら、
空気・水・熱の科学に基づく
高度な技術によって、
最適空間を創造し、
人類文化の発展に貢献する。

SPIRIT

私たちは、
エンジニアリング・コンストラクターとして
積極的な事業展開を図る。
私たちは、
たえず未来を見つめた
技術の開発に取り組み、
時代の変化に俊敏に対応する。

POLICY

【会社】
人間尊重の経営
【職場】
働きがいのある職場
【社員】
自己研鑽とチャレンジ精神溢れる行動

会社名 株式会社朝日工業社

創業 1925年 (大正14年) 4月3日

代表者 代表取締役社長 高須 康有

本社所在地 東京都港区浜松町一丁目25番7号

株式 東京証券取引所プライム市場 (証券コード：1975)

資本金 38億5710万円

連結売上高 801億71百万円 (2023年3月期)

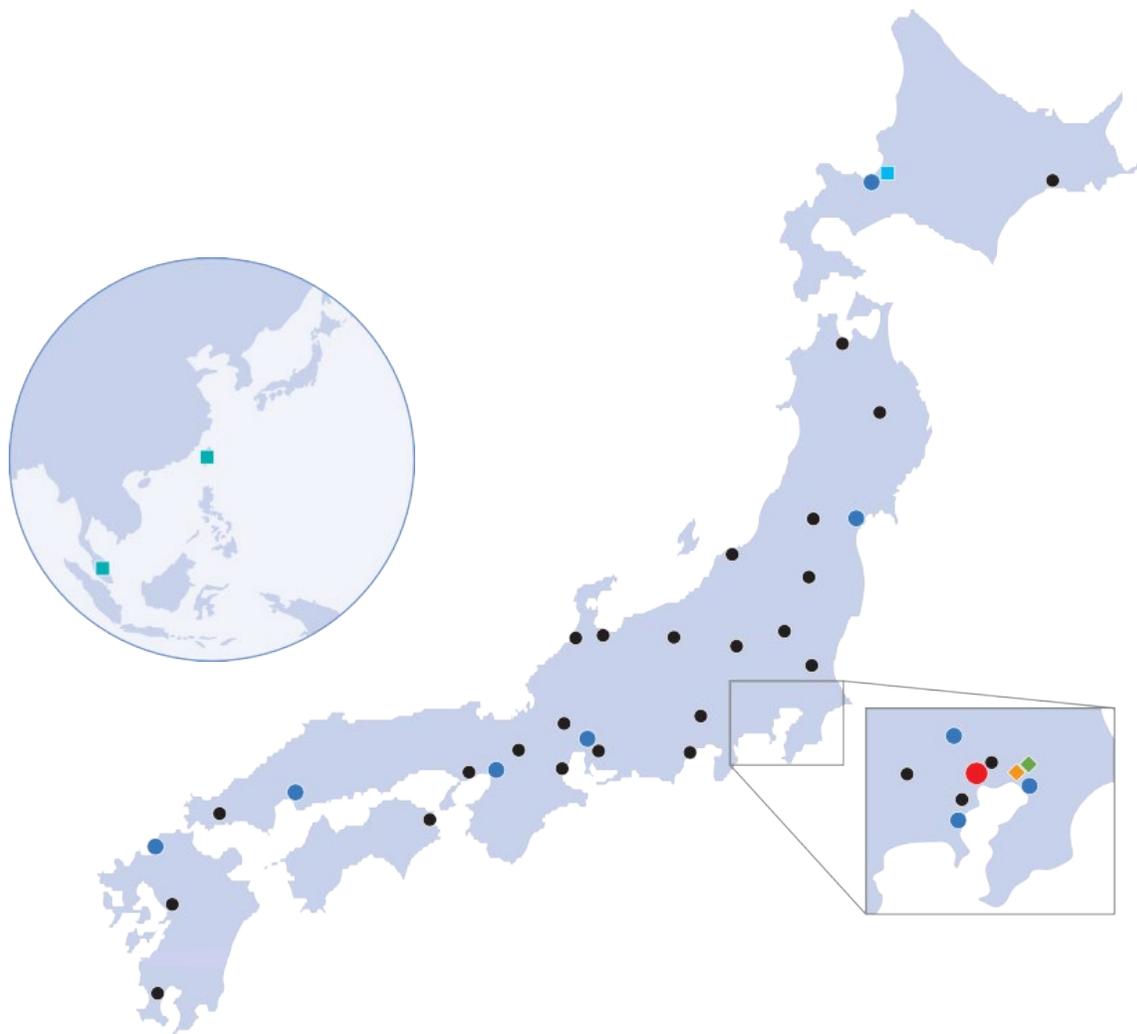
連結従業員数 993名 (2023年3月31日)

事業内容

- ・設備工事事業
- ・機器製造販売事業



全国をカバーするネットワーク



- 本社・本店
- 営業所・営業室
全国各地に27か所
- 大阪支社
- 北海道支店
- 国内グループ会社
北海道アサヒ冷熱工事株式会社
(札幌市)
- 東北支店
- 北関東支店
- 東関東支店
- 海外グループ会社
亞太朝日股份有限公司 (台湾・台北)
ASAHI ENGINEERING (MALAYSIA)
SDN.BHD (マレーシア・クアラルンプール)
- 横浜支店
- 名古屋支店
- 中国支店
- 九州支店
- ◆ 機器事業部
- ◆ 技術研究所



約 **800**

億円

売上高



約 **790**

億円

総資産



39

拠点

国内拠点数



98

年

創業年数



993

人

社員数（連結）



19.7

年

平均勤続年数

朝日工業社の歴史（1925年～1970年代）



創業者 高須茂



当時の作業風景



株式上市説明会の様子

1925

1950

1960

1970

1925(大正14)年
4月3日、大阪市北区において合資会社朝日工業社として創業

1940

1940(昭和15)年
株式会社に改組

1928(昭和3)年
東京出張所
(現 本店)を開設



「朝日式乾燥機」
カタログ



当時の東京本社

1964(昭和39)年
本社機構の改正により大阪支社を設置
1967(昭和42)年
機構上の本社を東京に移転

1970(昭和45)年
登記上の本店所在地を大阪から東京へ移転
1971(昭和46)年
東京証券取引所
市場第二部に株式上市
1972(昭和47)年
大阪証券取引所
市場第二部に株式上市
1979(昭和54)年
東京・大阪証券取引所
市場第一部に指定替え



紡績工場での施工風景



技術研究所

1980

1996(平成8年)
台湾に現地企業との合併による現地法人「亞太朝日股份有限公司」を設立

1990

2000

2003(平成15年)
亞太朝日股份有限公司を完全子会社化
2007(平成19年)
機器事業部・豊富工場を開設

2010

2012(平成24年)
マレーシアに現地法人「ASAHI ENGINEERING MALAYSIA SDN.BHD.」を設立
2018(平成30年)
港区浜松町に本社・本店新社屋が完成

2020

2022(令和4年)
東京証券取引所市場区分見直しに伴いプライム市場に移行
2025(令和7年)

創立

100周年



機器事業部・豊富工場



本社ビル外観

1983(昭和58)年
技術研究所を開設
1984(昭和59)年
機器事業部を開設
1986(昭和61)年
北海道アサヒ冷熱工事を設立



設備工事事業

INSTALLATION WORK DIVISION

オフィスビル、学校、病院、空港、半導体工場、データセンター、研究所・・・、様々な場所の空調、衛生などの設備の設計・施工



機器製造販売事業

(機器事業部)

EQUIPMENT DIVISION

半導体やフラットパネルディスプレイの製造装置などのメーカー向けに、精密環境制御機器を自社で開発設計・製造・販売

最適空間の創造 ～人の最適空間～



空気調和・換気設備

- 温度・湿度に加え、空気の流れや汚れを制御することによって、健康的で快適な空間を構築します。
- 空調機器によって異なる製造・保管環境を高精度に制御します。



給排水・衛生・消火設備

- 水を用途に適した温度や成分に整えて供給し、使い終わって汚れた水を適切に処理して排出できるようにします。
- 万が一のときに、火災から人や建物を守る建築設備を構築します。

最適空間の創造 ～製造環境の最適空間～



工場配管・乾燥・除塵設備

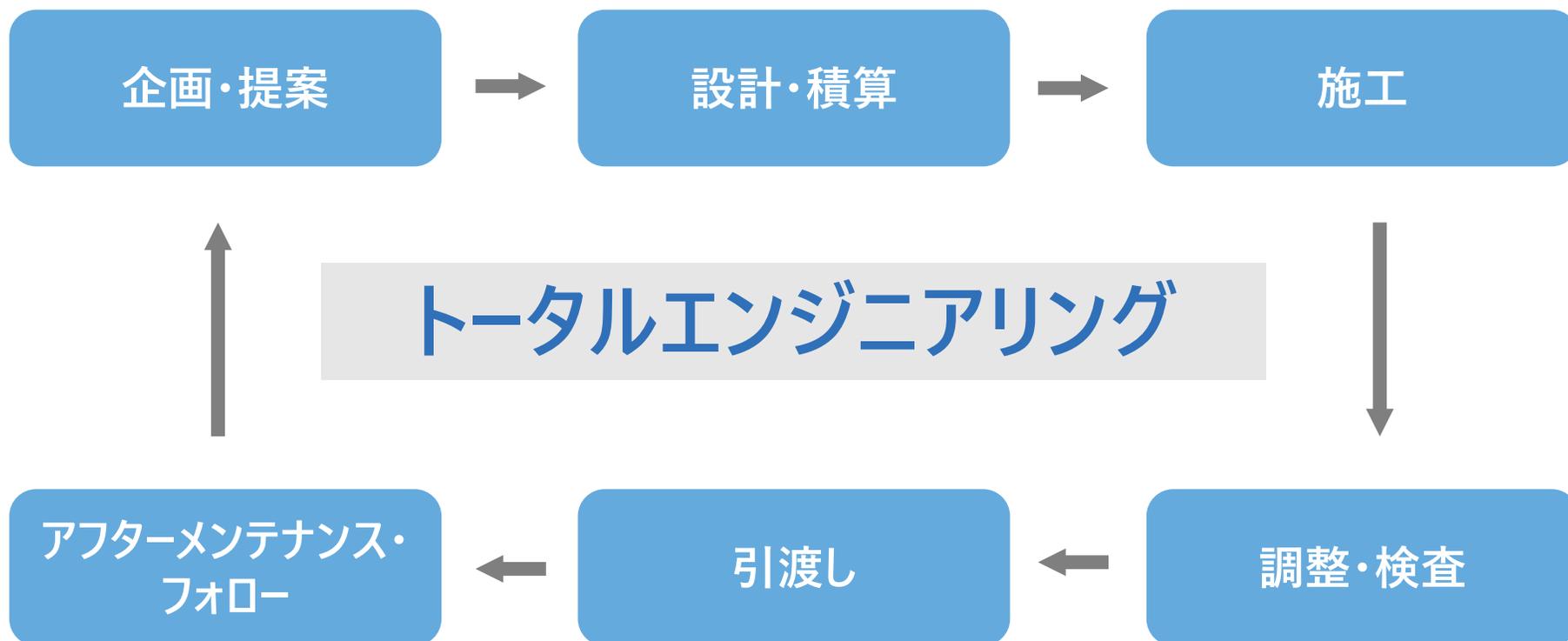
- 高度な技術によって、一切の不純物を含まない純水や薬液を、周囲環境の影響を排除して変質させることなく、リアルタイムに的確な量を供給する設備を構築します。



クリーンルーム設備

- 微細なホコリを除去するだけでなく、汚染ガスやウイルスなどの化学的、生物学的な汚れが無い“キレイ”な空間を創造するとともに、最適な温熱環境を制御します。

提案からアフターメンテナンスまでの「トータルエンジニアリング」



主な施工実績①

ビジネス環境

オフィスビル、
官公庁舎 等



カゴメ本社ビル

生活・文化環境

学校、ホテル、体育施設、
水族館、プール 等



名古屋港水族館

生産環境

工場、研究所、
データセンター 等



森永北陸乳業福井工場

主な施工実績②

健康・医療環境

病院、介護施設等



中部国際医療センター

交通・通信環境

空港、駅、テレビ局等



京都駅ビル

流通環境

デパート、市場等



SAKURA MACHI Kumamoto

開発・製造拠点（豊富工場）



開設

2007年5月

※機器事業部の設立は1984年1月

所在地

千葉県船橋市豊富町616-8

敷地面積

26,785m²

主な事業内容①

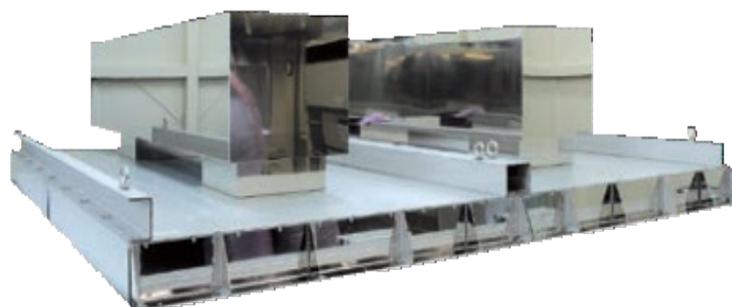
1 フラットパネルディスプレイ（FPD）・半導体向け環境装置の製造・販売



FPD露光装置用エンバイロメンタルチャンバ



半導体露光装置用エンバイロメンタルチャンバ



クリスタルジェット

主な事業内容②

2 空調関連装置の製造・販売



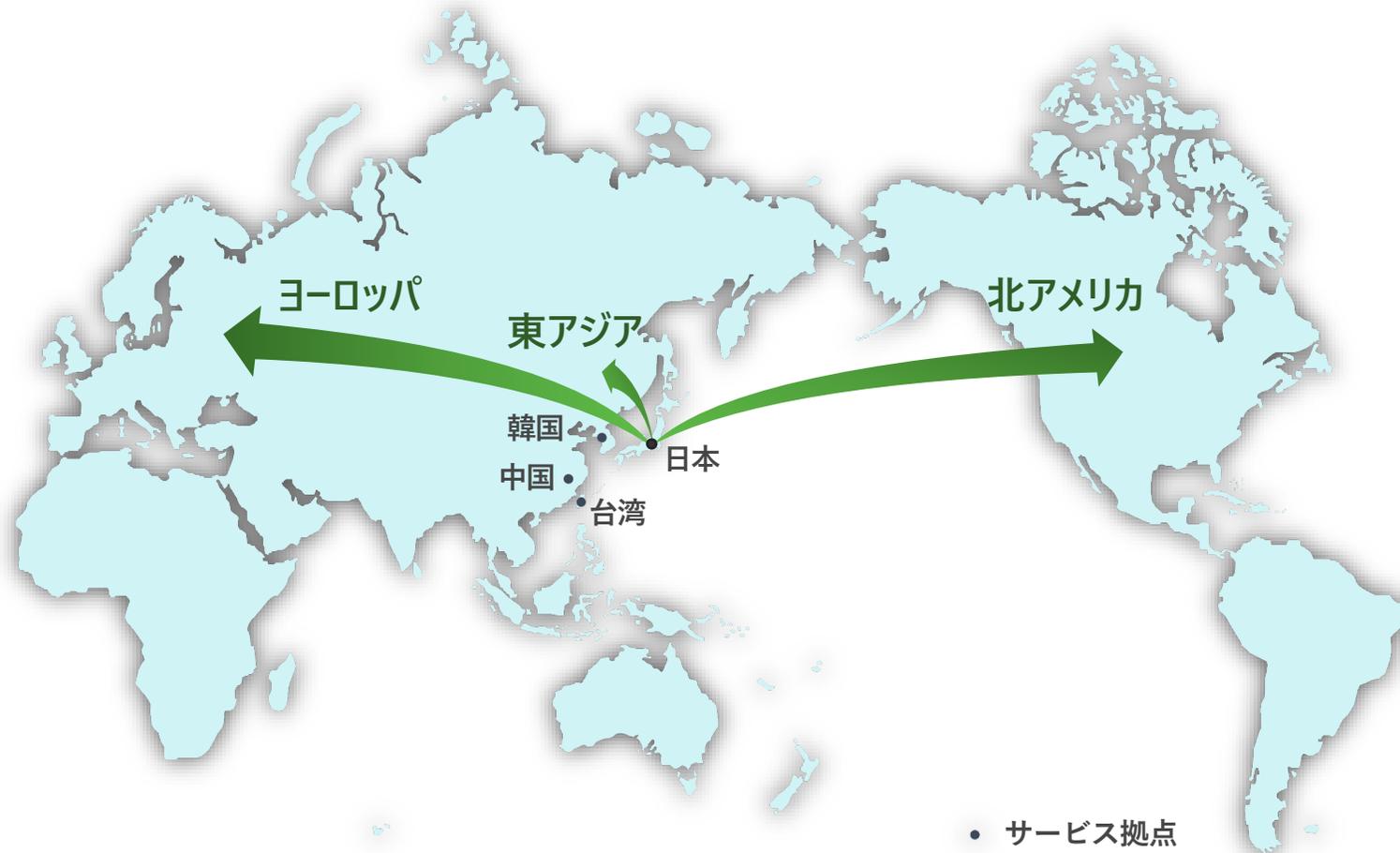
高効率顕熱空調機



ドライヤ装置 (外観)

納入実績

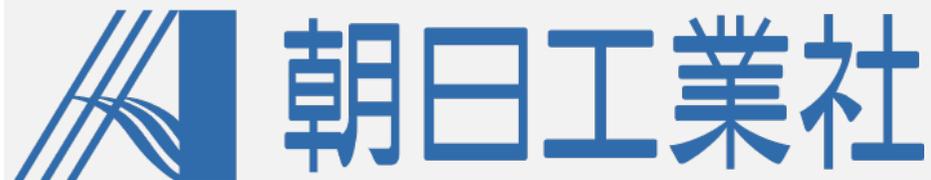
累計10,000台以上の製品を国内外に納入





 朝日工業社

2.朝日工業社の強み



創業約100年で培われた
「空気・水・熱」の技術力

- 空調設備・衛生設備工事の豊富な実績
- 空気調和技術の専門性を横展開した機器製造販売事業
- 市場トレンドに対応した高度な技術力



プロジェクトベースで一体となった
事業運営



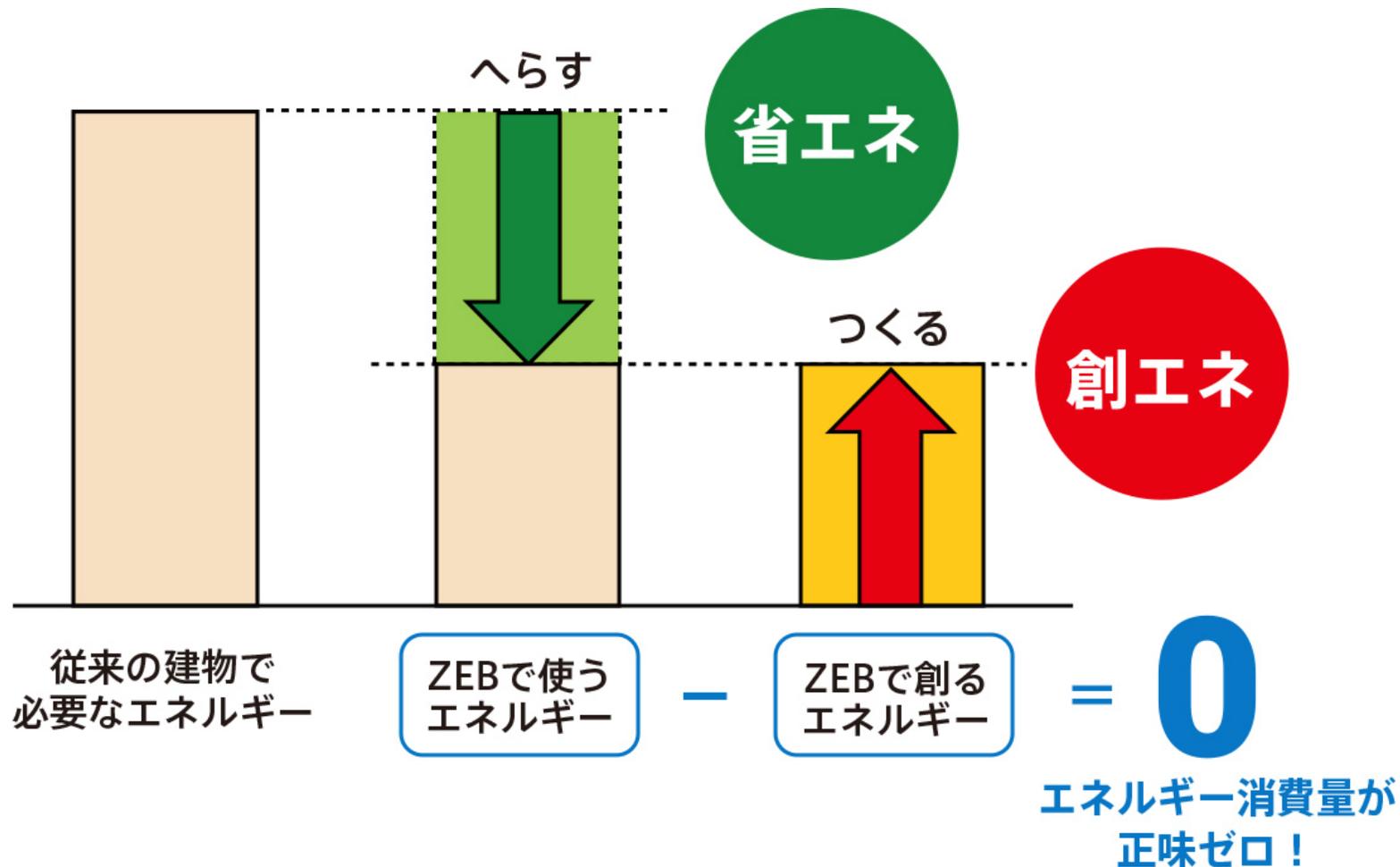
顧客密着型の事業展開



專業大手としてのポジション

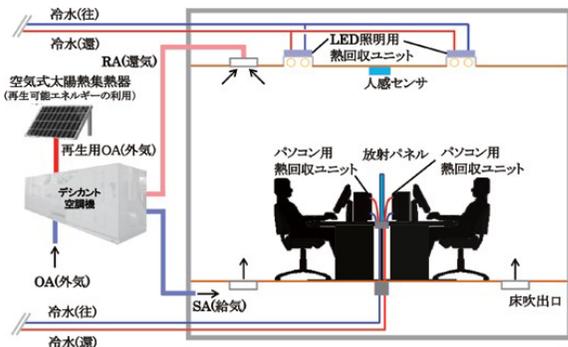
ZEB (Net Zero Energy Building : ゼブ) とは？

「省エネ」と「創エネ」によってエネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにすることを旨とした建物をいいます。



出典：環境省「ZEB PORTAL」サイト

キーテクノロジー



液冷空調システム

- 従来、室内に排出されていたPCなどの機器の熱を、発生源に冷水を供給して冷却することで省エネと快適性の両立を実現します。
- 年間空調エネルギー消費量80%以上削減の試算結果を確認しています。

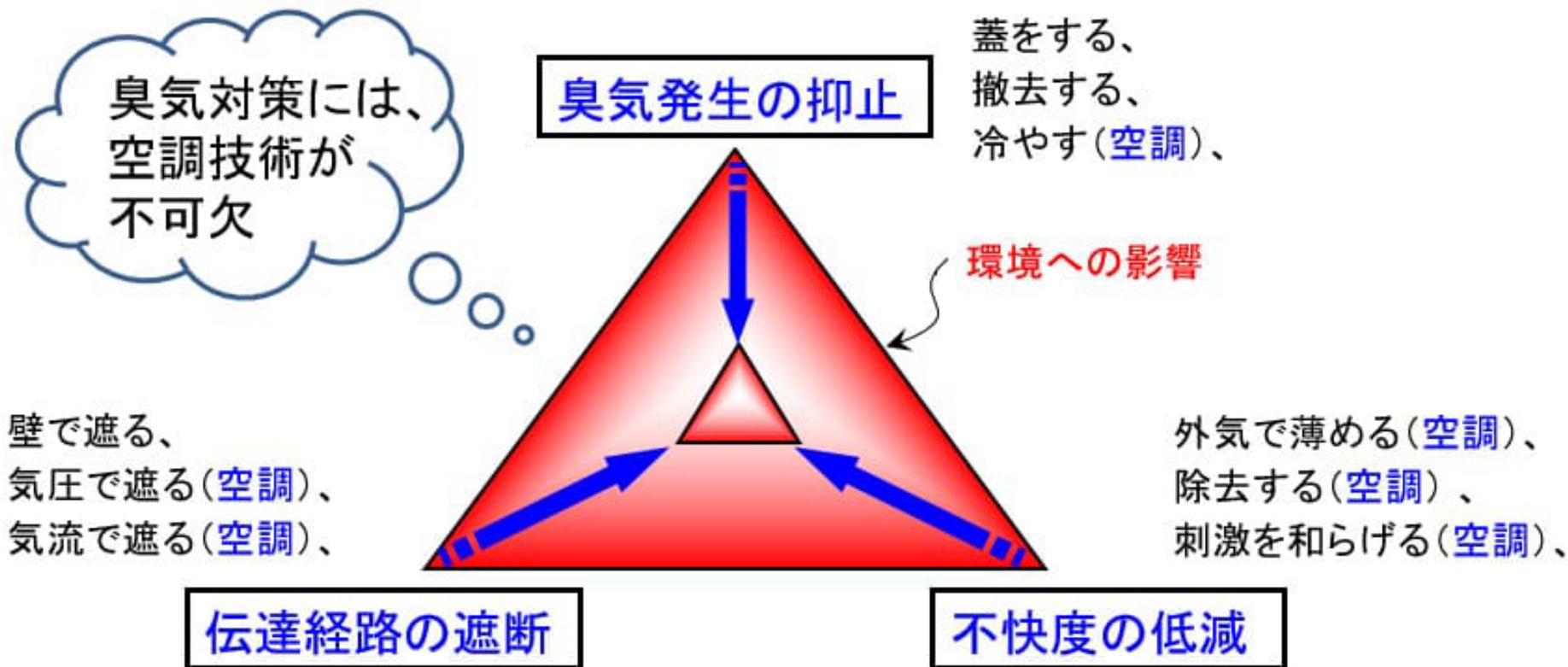


低温再生デシカント空調機

- 衛生的であるばかりでなく、湿度環境の改善を図ることができ、居住者の快適性、知的生産性を向上させることができます。
- 低温再生の除湿材を使用し、また太陽熱を利用することで、一次エネルギーの消費を極力抑制します。

当社の脱臭・VOC（揮発性有機化合物）対策の基本方針

“臭気対策の三要素（臭気発生抑制、伝達経路の遮断、不快度の低減）”を実践します。



当社の脱臭・VOC対策、クリーン化、殺菌技術



カートリッジ式吸着脱臭装置

- 室内環境に存在するVOCその他の臭気を活性炭で吸着除去する脱臭装置です。
- カートリッジの採用により、短時間での活性炭の交換を可能としています。

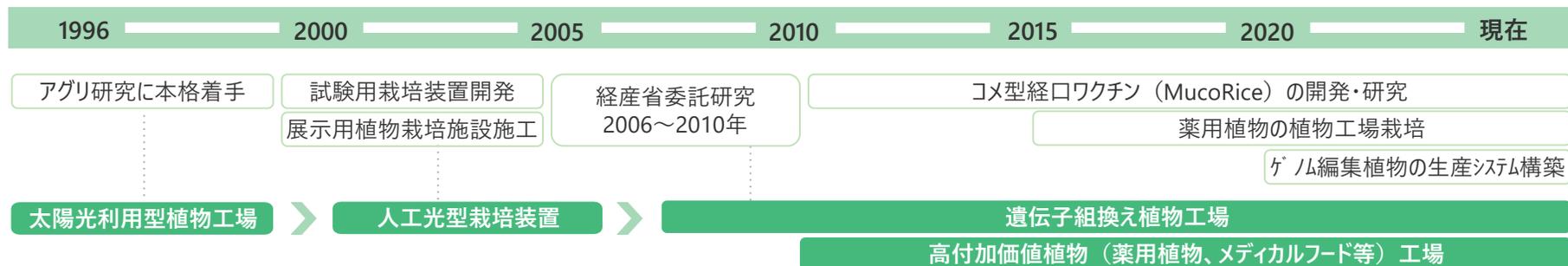


オイルミストコレクタ

- 工作機械のオイルミストから発生する臭気、視界不良、床すべりなどは、作業者の健康、生産性や安全性を損なうおそれがあります。
- この重要な課題を改善するため、洗浄再生フィルタのみで中性能相当の除去率を実現し、性能と低コストを両立したコレクタを開発しました。

アグリ関連分野への取り組みの変遷

- 食の安全・安心や安定供給における解決手段として注目されている「植物工場」に関する研究に、同業他社に先駆けて1996年から本格的に取り組んでいます。
- 千葉大学、筑波大学、東京工業大学など、多くの教育機関と共同で研究開発を行い、知見や技術を蓄積しています。



取組み事例



新規低コスト完全人工光型栽培装置の開発

- ベルグアース(株)様、日鉄鋼板(株)様、ツジコー(株)様およびデザイナーフーズ(株)様とコンソーシアムを形成し、各社の保有技術に当社の効率的な空調システムを組み合わせることで、低コスト型植物工場を構築しました。



閉鎖型医薬品用イネ栽培システムユニット

- 東京大学医科学研究所様に納入いたしました。

市場トレンドに対応



製造業

国内生産拠点等の整備

高付加価値製品へのシフト

省人化（自動化）

サステナビリティ対応



コアコンピタンス

空気

水

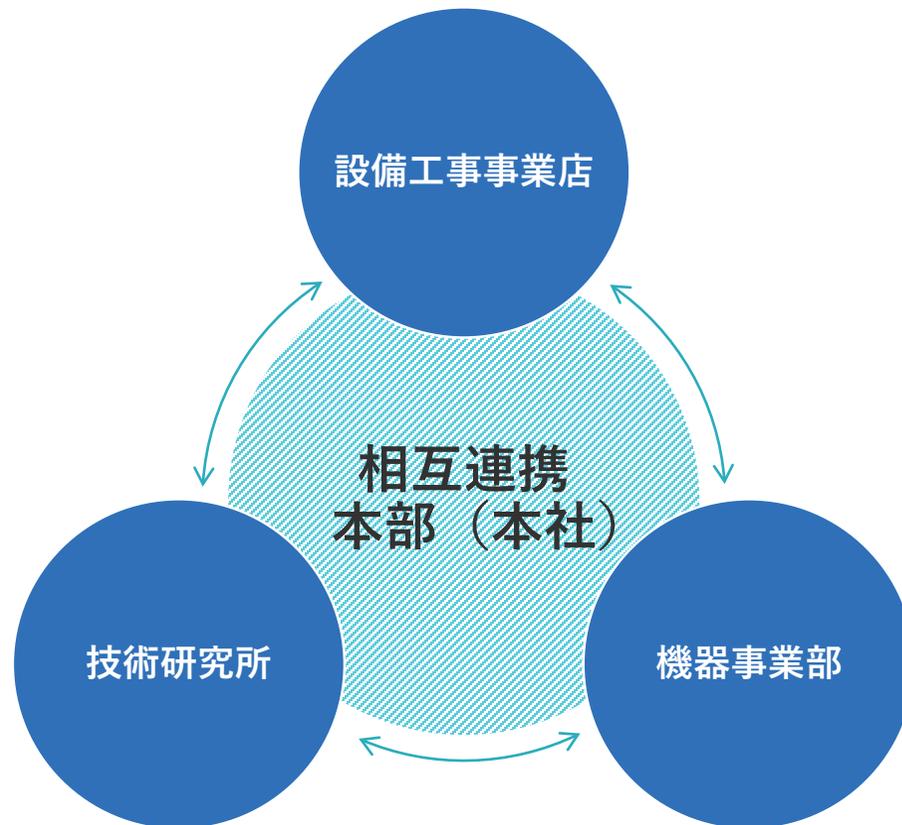
熱

サステナビリティへの取組みにも対応

空調設備工事

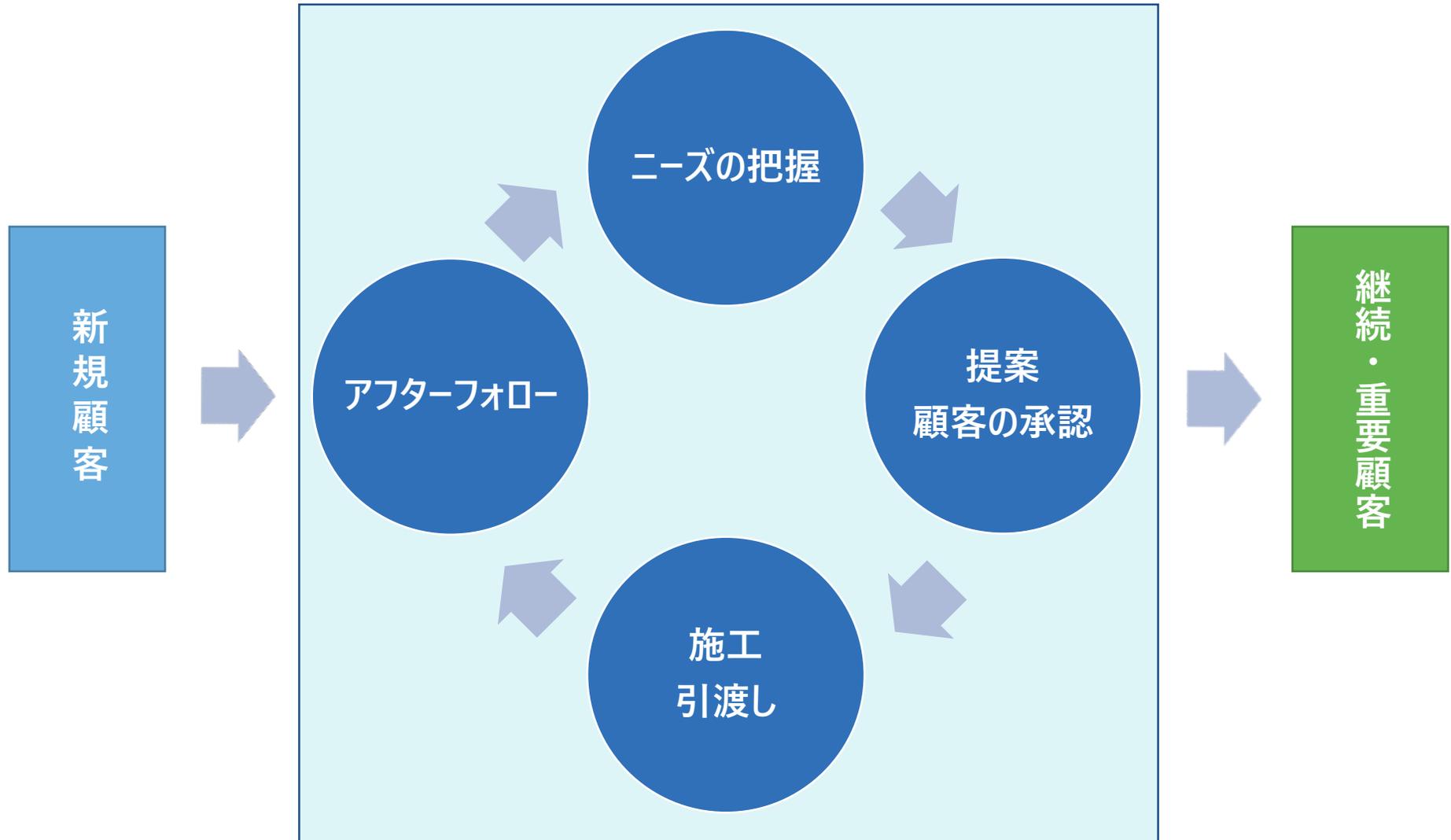
衛生設備工事

高度化する顧客ニーズに対応



各部門の持つノウハウの共有
顧客のニーズに対するソリューションを共同で提案

顧客ニーズの把握による好循環サイクルの確立





3. 2024年3月期業績予想

2024年3月期の予想について

(単位：百万円)

	'23/3期	'24/3期		
	実績	予想	前年比	増減率
受注高	86,778	(上方修正値) 88,600	+1,822	2.1%
次期繰越高	82,380	(上方修正値) 82,280	▲100	▲0.1%
売上高	80,171	88,700	+8,529	+10.6%
売上総利益	9,053	9,670	+617	+6.8%
利益率	11.3%	10.9%	▲0.4pt	-
営業利益	2,697	2,900	+203	+7.5%
利益率	3.4%	3.3%	▲0.1pt	-
経常利益	3,127	3,150	+23	+0.7%
利益率	3.9%	3.6%	▲0.3pt	-
親会社株主に帰属する当期純利益	2,480	2,500	+20	+0.8%
利益率	3.1%	2.8%	▲0.3pt	-

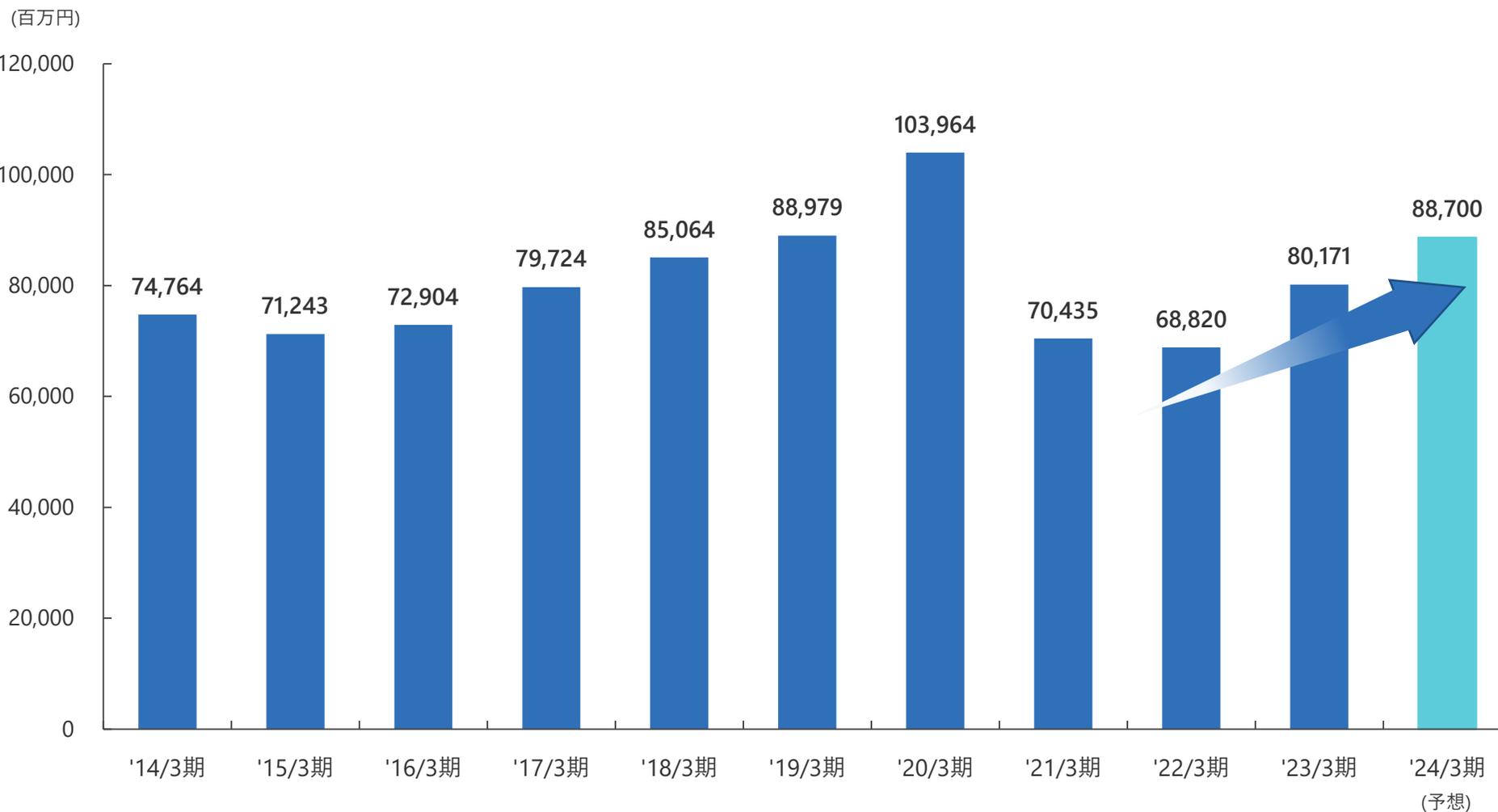
受注高



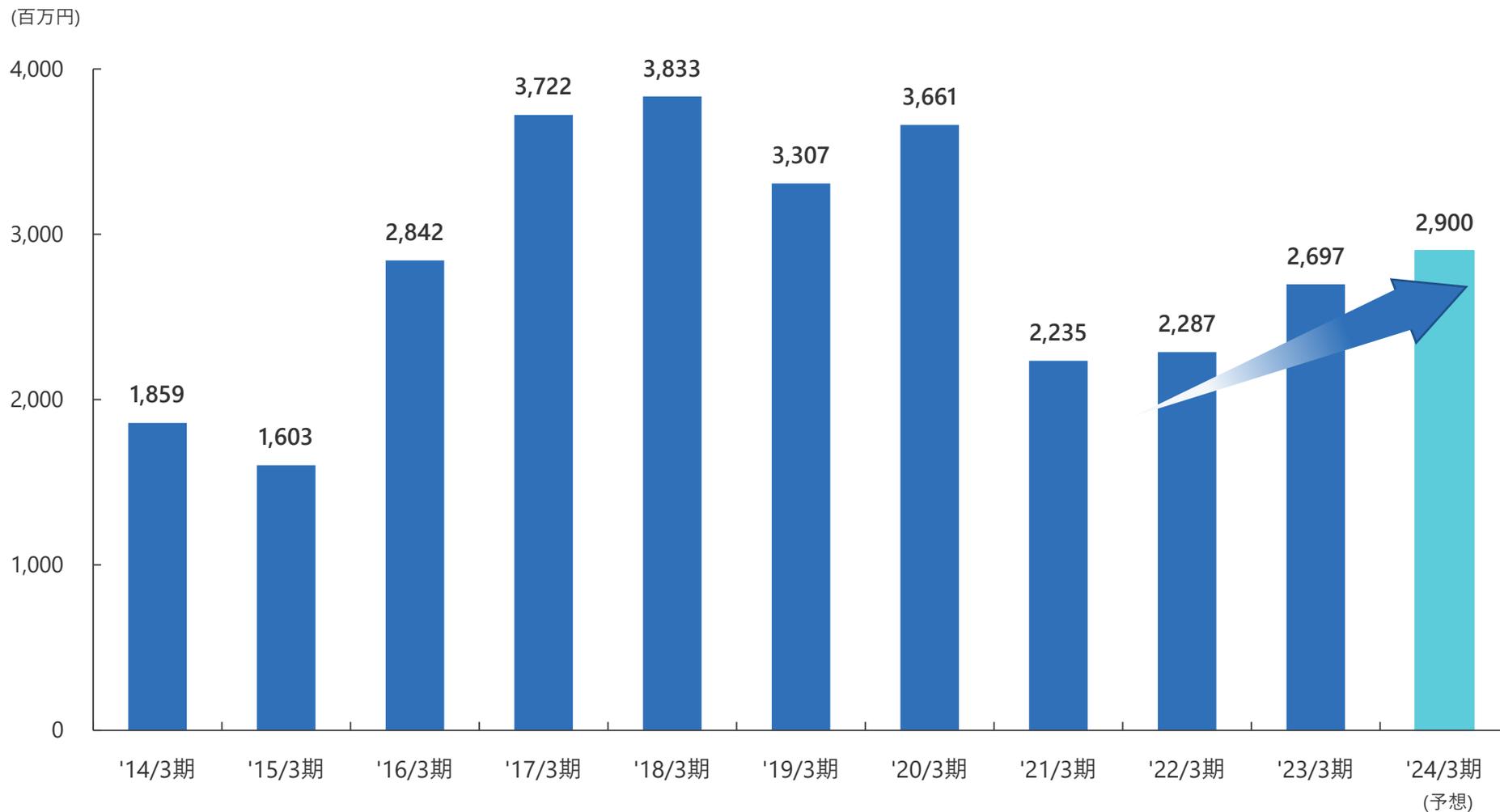
売上高



売上高



営業利益





 朝日工業社

4. 資本政策・株主還元

中期経営計画に定める資本政策・株主還元の目標数値

ROE
(自己資本利益率)
中計最終年度 (2025年度)

8.0%

連結配当性向

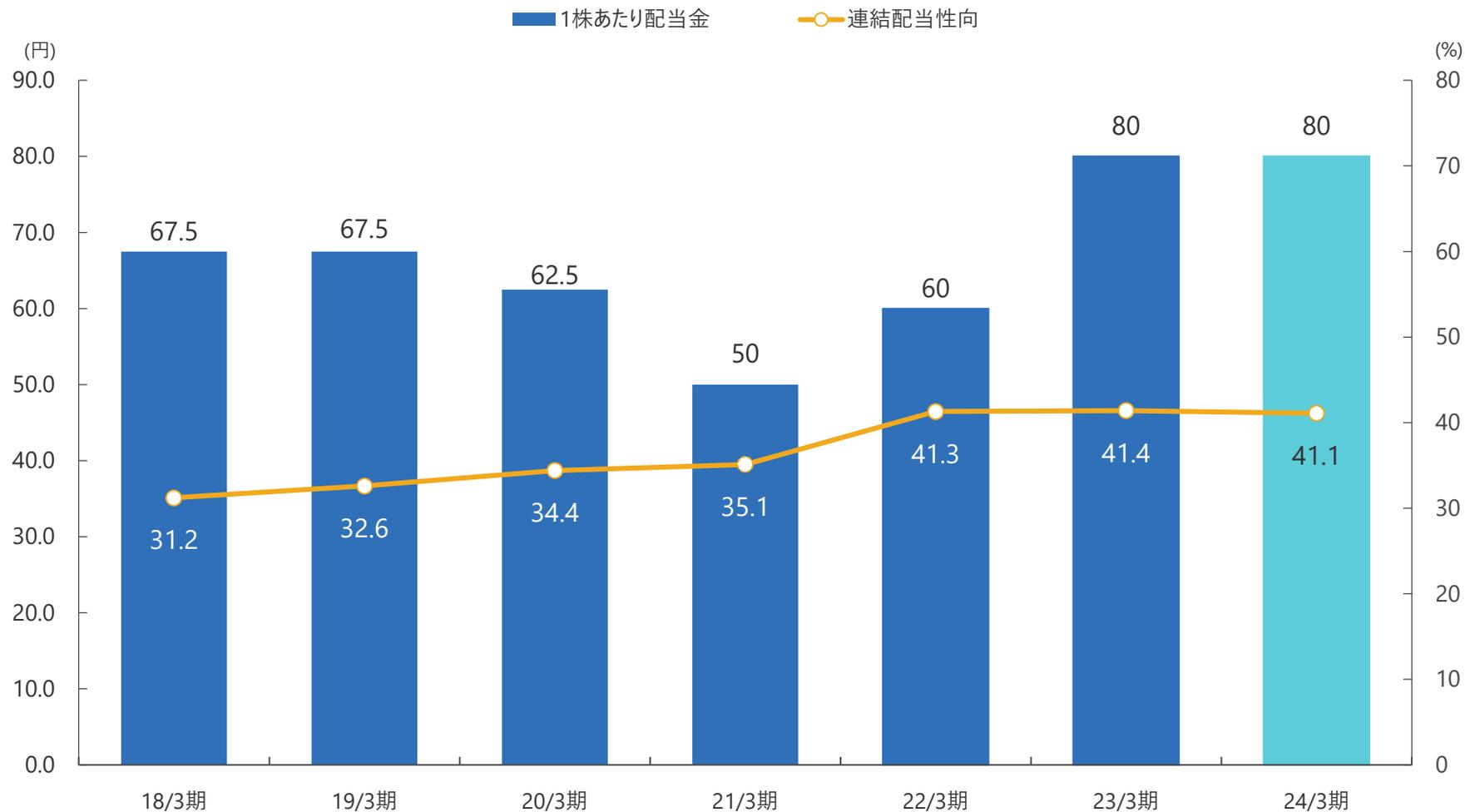
40%以上

成長投資

中計期間 (3ヶ年) 中

約 **70** 億円

配当実績・見込み



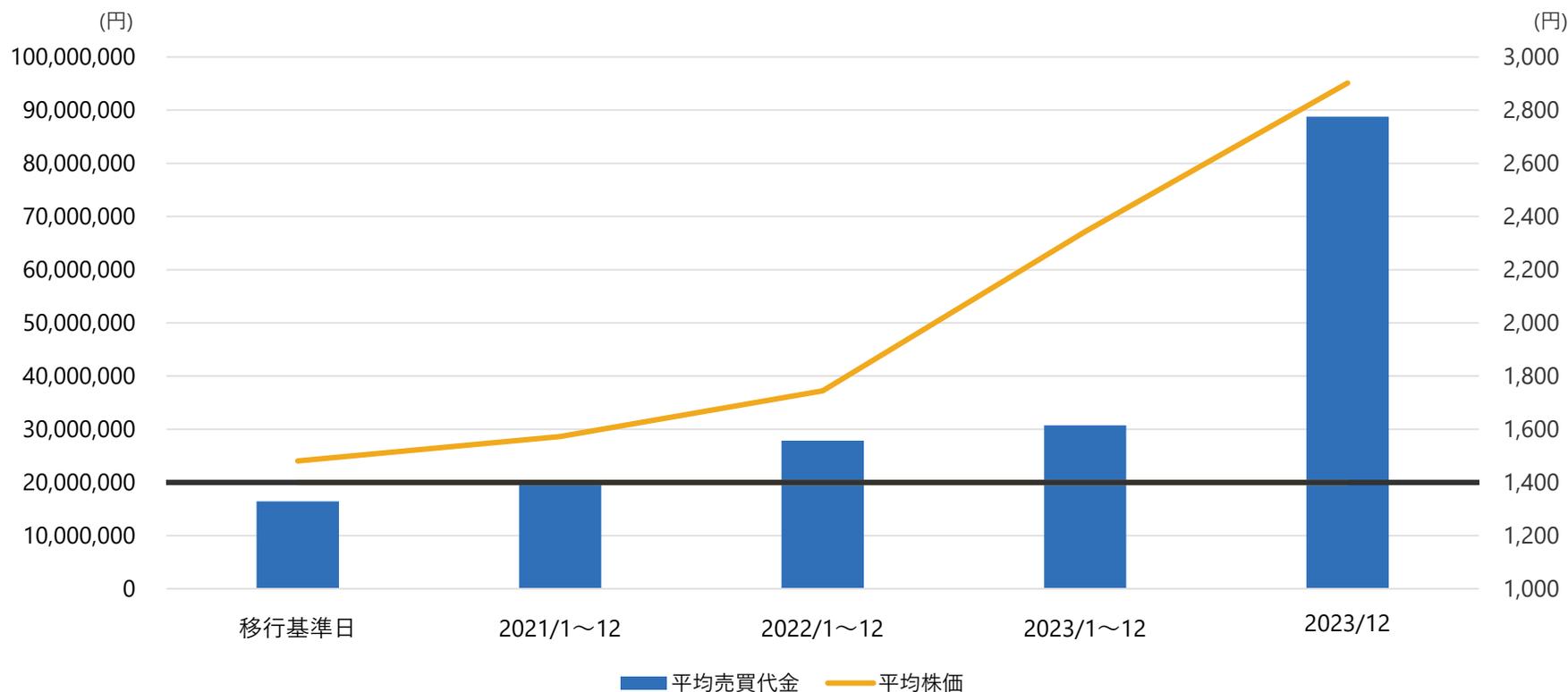
注釈(1)：2022年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っているため、22/3期以前の配当金は、株式分割後の数値に換算しております。

売買代金・株価の推移

	移行基準日 (2021/6/30)	2021/1~12	2022/1~12	2023/1~12	2023/12
平均株価 (終値)	1,481円	1,573円	1,744円	2,343円	2,902円
1日平均 売買代金	1,646万円	2,010万円	2,783万円	3,075万円	8,876万円

注釈(1)：移行基準日の平均株価は直前3ヶ月間の平均であり、売買代金は直前1年間の平均

注釈(2)：2023/12は1日から11日（資料作成日時点）までの平均





5. 中期経営計画（2023年4月～2026年3月）

基本方針

2025年に迎える100周年とその先へ向けて、
3つの戦略とそれらを支える2つの基盤強化に取り組む。

事業 戦略

収益力の強化と
生産性の向上

人材 戦略

人材の価値を最大限に引き
出す **人的資本経営の実践**

イノベーション 戦略

研究開発の強化・推進と
新事業への挑戦



サステナビリティ基盤の強化

DX基盤の強化

戦略	重点項目
事業戦略 ～収益力の強化と生産性の向上～	【設備工事事業】 ①戦略的かつ長期的視野に立った受注活動の推進 ②全社的な設計・施工体制、サポート体制の構築
	【機器製造販売事業・海外事業】 事業領域の拡充
	【グループ全体】 業務全般の見直しによる生産性の向上
人材戦略 人材の価値を最大限に引き出す 人的資本経営の実践	人材の確保と育成
	人事制度の再構築
イノベーション戦略 研究開発の強化・推進と 新事業への挑戦	研究開発の基盤強化と推進
	新規事業とイノベーションの創出

基盤の強化	重点項目
サステナビリティ基盤の強化	脱炭素を実現する技術・製品開発の推進
	事業活動におけるCO2排出量の確実な把握と削減
	サステナビリティ経営を支えるガバナンス体制の拡充
DX基盤の強化	DXによる業務プロセスの変革
	BIMの活用推進による建設DXの加速
	デジタル基盤の整備

	連 結	個 別
受注高	875億円	840億円
売上高	915億円	880億円
営業利益	32.5億円	31億円
経常利益	34.5億円	33億円
当期純利益	26.5億円	25.5億円

資本政策・配当方針

資本効率の改善	政策保有株式の20%の縮減を目標に、資本効率の向上を図る。
	経営環境を総合的に勘案して、自己株式の取得等を検討する。
株主還元	1株当たり年80円の普通配当を安定的に継続する。
	連結配当性向40%以上を目標とする。
将来への投資	新たな成長機会の創出に向けて、研究開発の強化(約40億円)、DXの推進(約20億円)、サステナビリティ経営や人的資本経営の推進(約10億円)、計70億円程度の投資を戦略的に実施

【ご参考：中計詳細（当社ホームページへのリンク）】

[第18次中期経営計画 | 空調設備工事の朝日工業社 \(asahikogyosha.co.jp\)](https://www.asahikogyosha.co.jp)



 朝日工業社

Appendix

2024年3月期第2四半期決算概要

(単位：百万円)

	'22/3期	'23/3期	'24/3期		
	2Q累計	2Q累計	2Q累計	前年同期比	増減率
受注高	33,537	54,376	64,126	9,750	17.9%
売上高	28,408	31,388	41,997	10,608	33.8%
売上総利益	3,082	3,029	5,405	2,376	78.4%
利益率	10.9%	9.7%	12.9%	3.2pt	-
営業利益	43	55	2,211	2,156	-
利益率	0.2%	0.2%	5.3%	5.1pt	-
経常利益	227	206	2,395	2,189	-
利益率	0.8%	0.7%	5.7%	5.0pt	-
親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益	124	106	1,615	1,509	-
利益率	0.4%	0.3%	3.8%	3.5pt	-

(単位：百万円)	'22/3期	'23/3期	'24/3期		
	2Q累計	2Q累計	2Q累計	前年同期比	増減率
設備工事事業					
受注高	29,989	51,440	63,065	11,624	22.6%
売上高	25,769	28,600	40,605	12,005	42.0%
営業利益	△167	△105	2,474	2,579	-
営業利益率	△0.6%	△0.4%	6.1%	-	-
機器製造販売事業					
受注高	3,548	2,935	1,061	△1,874	△63.8%
売上高	2,639	2,788	1,391	△1,396	△50.1%
営業利益	211	161	△262	△423	-
営業利益率	8.0%	5.8%	△18.9%	-	-
受注高合計	33,537	54,376	64,126	9,750	17.9%
売上高合計	28,408	31,388	41,997	10,608	33.8%
営業利益合計	43	55	2,211	2,156	-

2024年3月期第2四半期決算概要：セグメント別実績 受注高

(単位：百万円)		受注高				
		'22/3期 2Q累計	'23/3期 2Q累計	'24/3期 2Q累計	前年 同期比	増減率
設備 工事	ビジネス環境施設 (オフィスビル、官公庁舎等)	7,033	5,251	8,147	2,896	55.2%
	交通・通信環境施設 (空港、駅、テレビ局等)	913	449	1,389	940	209.4%
	生活・文化環境施設 (学校、ホテル等)	7,309	6,395	9,706	3,311	51.8%
	健康・医療環境施設 (病院、介護施設等)	2,789	3,499	12,004	8,505	243.1%
	流通環境施設 (デパート、市場等)	785	2,071	3,203	1,132	54.7%
	生産環境施設 (工場・研究所、データセンター等)	11,160	33,775	28,616	△5,159	△15.3%
機器 製造 販売	FPD（液晶）関連	2,804	1,291	215	△1,076	△83.3%
	半導体関連	525	1,368	541	△827	△60.5%
	その他	219	276	305	29	10.5%
合計		33,537	54,376	64,126	9,750	17.9%

2024年3月期第2四半期決算概要：セグメント別実績 売上高

(単位：百万円)		売上高				
		'22/3期 2Q累計	'23/3期 2Q累計	'24/3期 2Q累計	前年 同期比	増減率
設備 工事	ビジネス環境施設 (オフィスビル、官公庁舎等)	6,052	7,270	6,539	△731	△10.1%
	交通・通信環境施設 (空港、駅、テレビ局等)	728	413	277	△136	△32.9%
	生活・文化環境施設 (学校、ホテル等)	4,621	4,193	8,408	4,215	100.5%
	健康・医療環境施設 (病院、介護施設等)	3,398	3,148	2,777	△371	△11.8%
	流通環境施設 (デパート、市場等)	1,018	688	1,730	1,042	151.5%
	生産環境施設 (工場・研究所、データセンター等)	9,952	12,888	20,874	7,986	62.0%
機器 製造 販売	FPD（液晶）関連	2,000	2,083	607	△1,476	△70.9%
	半導体関連	362	552	612	60	10.9%
	その他	277	153	170	17	10.8%
合計		28,408	31,388	41,997	10,608	33.8%

2024年3月期第2四半期決算概要：次期繰越高

(単位：百万円)	次期繰越高				
	'22/3期 2Q累計	'23/3期 2Q累計	'24/3期 2Q累計	前年 同期比	増減率
ビジネス環境施設 (オフィスビル、官公庁舎等)	19,392	21,893	20,791	△1,102	△5.0%
交通・通信環境施設 (空港、駅、テレビ局等)	1,353	795	1,657	862	108.4%
生活・文化環境施設 (学校、ホテル等)	18,390	25,643	26,199	556	2.2%
健康・医療環境施設 (病院、介護施設等)	10,571	6,312	12,310	5,998	95.0%
流通環境施設 (デパート、市場等)	1,137	2,469	1,715	△754	△30.5%
生産環境施設 (工場・研究所、データセンター等)	11,697	36,563	37,606	1,043	2.9%
合計	62,540	93,676	100,278	6,602	7.0%

当社グループが取り組む重点課題	関連するSDGs目標
<p>【Planet 地球】 地球環境の保全・資源の保護による脱炭素社会の実現 事業活動全般を通じて、地球環境の保全と資源の保護に努め、脱炭素社会の実現に貢献します。</p>	 
<p>【Prosperity 豊かさ】 持続可能な社会の実現につながるソリューションの提供と品質・安全衛生の確保 これまで培ってきた省エネルギーをはじめとする環境技術の活用や研究開発の強化により、持続可能な社会の実現につながるソリューションの提供と品質・安全衛生の確保に努めます。</p>	  
<p>【People 人間】 ワークライフバランスとダイバーシティの推進 事業活動に関係するすべての人々の人権と健康を尊重し、多様な人材が能力を十分に発揮し、また働きがいを持てる職場環境を確保・維持できるように、ワークライフバランスとダイバーシティを推進します。</p> <p>働き方改革の推進とデジタル技術の活用による生産性の向上 事業プロセス全般において働き方改革を推進するとともに、デジタル技術を積極的に導入・活用することにより、生産性の向上を目指します。</p>	   
<p>【Partnership パートナーシップ】 ビジネスパートナー等との共存共栄とパートナーシップの強化 当社の事業に協力いただく関係先（ビジネスパートナー）との公正、透明かつ適正な取引により共存共栄を目指すとともに、産学官の連携も視野に入れて外部組織とのパートナーシップを強化し、持続可能な社会の実現に取り組みます。</p>	
<p>【Peace 平和】 コーポレートガバナンスの拡充とコンプライアンスの強化 さまざまなステークホルダーの期待に応えられるよう、コーポレートガバナンスの拡充に取り組み、またコンプライアンス重視の経営を徹底して国内外の法令や社会規範を確実に遵守します。</p>	

当社グループが取り組む重点課題	関連するSDGs目標	取り組みテーマ	具体的な施策		
<p>【Planet 地球】 地球環境の保全・資源の保護による脱炭素社会の実現</p>	 	<p>環境マネジメントシステムによる環境負荷の低減</p>	<p>事業所におけるエネルギー使用量（原油換算総量（kℓ））の低減</p> <p>フロン類の適正処理</p> <p>産業廃棄物の適正処理</p>		
		<p>脱炭素社会の実現に向けたマネジメント強化</p>	<p>気候変動に関するリスクと機会の分析</p> <p>サプライチェーンにおける温室効果ガス排出量の把握と削減</p>		
		<p>【Prosperity 豊かさ】 持続可能な社会の実現につながるソリューションの提供と品質・安全衛生の確保</p>	  	<p>持続可能な社会の実現につながるソリューションの提供</p>	<p>客先に対するファシリティマネジメント提案の推進</p> <p>省エネ提案におけるCO2排出削減量の見える化の運用</p> <p>設計・施工の各段階におけるCO2排出量の削減</p>
				<p>研究開発の強化</p>	<p>コメ型ワクチンMucoRice 栽培環境に関する研究</p> <p>液冷空調システム、潜熱・顕熱分離空調を中心とした独自ZEB空調システムの改善</p> <p>研究開発基盤の整備</p>
<p>品質・安全衛生の確保</p>	<p>トラブル・クレームの未然防止と情報共有</p> <p>効率化工法の開発</p>				

当社グループが取り組む重点課題	関連するSDGs目標	取り組みテーマ	具体的な施策
<p>【People 人間】 ワークライフバランスとダイバーシティの推進 働き方改革の推進とデジタル技術の 活用による生産性の向上</p>	   	ワークライフバランスの推進	<p>法定時間外労働時間の削減</p> <p>有給休暇取得の奨励</p> <p>育児休業取得の促進</p>
		ダイバーシティの推進	<p>女性総合職の登用</p> <p>女性管理職の登用</p> <p>障がい者の雇用確保</p> <p>定年再雇用者の活躍推進</p>
		働き方改革の推進	働き方改革「Asahi Sun社員プロジェクト」の更なる推進
		デジタル技術の活用による生産性の向上	<p>施工業務におけるデジタルツールの導入</p> <p>DX推進による業務改善（合理化・効率化）</p>

当社グループが取り組む重点課題	関連するSDGs目標	取り組みテーマ	具体的な施策
<p>【Partnership パートナーシップ】 ビジネスパートナー等との共存共栄と パートナーシップの強化</p>		<p>サプライヤーとの連携強化</p>	<p>適切な関係維持と品質、安全確保に向けた 協力関係の強化推進</p>
		<p>外部組織とのパートナーシップの 強化</p>	<p>SDGsに関係する国内外のイニシアチブ・ コンソーシアムへの参画</p>
		<p>全社的な社会貢献の継続実施</p>	<p>全社的な社会貢献の継続実施</p>
			<p>その他、各事業店による地域社会貢献の継続実施</p>
<p>【Peace 平和】 コーポレートガバナンスの拡充と コンプライアンスの強化</p>		<p>コーポレートガバナンスの拡充</p>	<p>コーポレートガバナンス体制の継続的強化と コーポレートガバナンスコードへの適宜適切な対応</p>
			<p>内部統制システムの確実な運用と簡素化に向けた検討</p>
			<p>広報・IRのさらなる体制整備と推進</p>
			<p>上場企業に相応しい体制の整備</p>
			<p>BCPを上半期中に全社で整備し、下半期より運用開始</p>
		<p>実効的なコンプライアンスの浸透</p>	<p>コンプライアンスの徹底・強化</p> <p>トラブルへの適時適切な対応</p>

本資料は、株式会社朝日工業社の業界動向および事業内容について、株式会社朝日工業社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。

既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。

株式会社朝日工業社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、2023年12月14日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社朝日工業社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。



お問い合わせ先

株式会社朝日工業社 総務本部 広報・IR室

T E L : 03-6452-8181

F A X : 03-6452-8191